

## 次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 301

### ■ 自動車工学関連講座（中堅技術者向け Web セミナー）

#### 第2回「リーダーが知っておくべき生産現場管理の基本」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様から希望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、自動車工学関連講座の一環として、中堅技術者向け Web セミナーを開催しています。

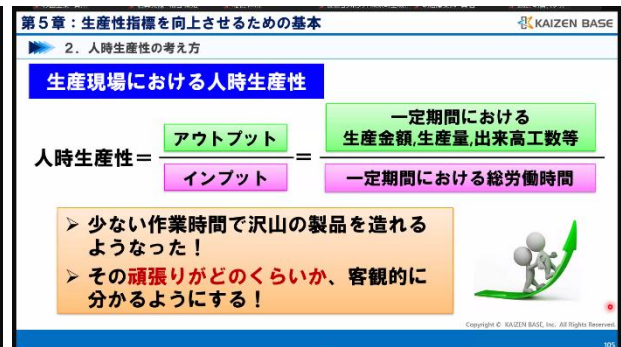
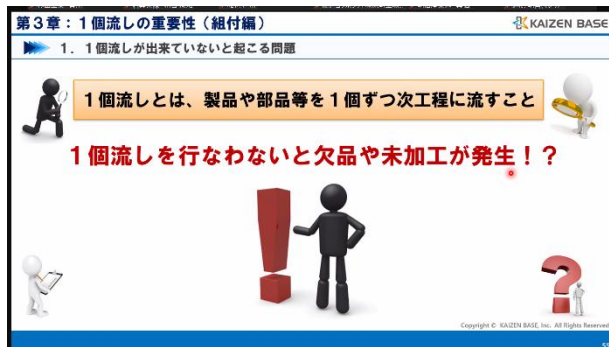
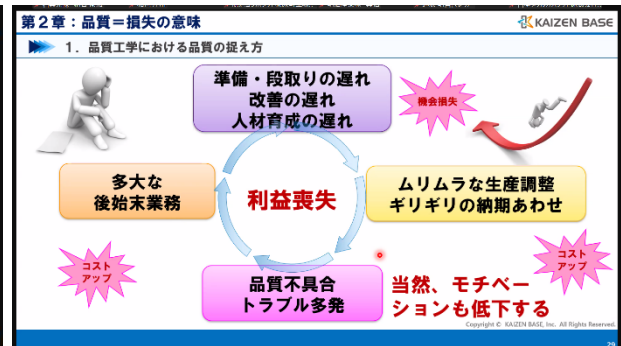
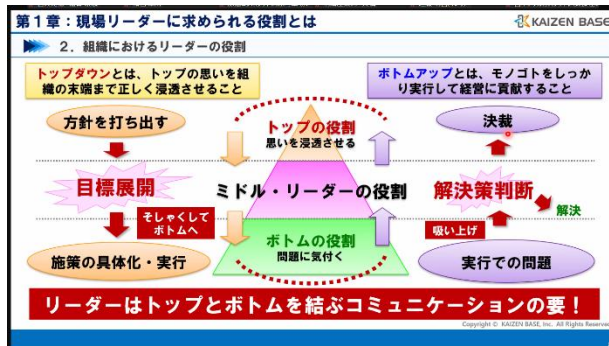
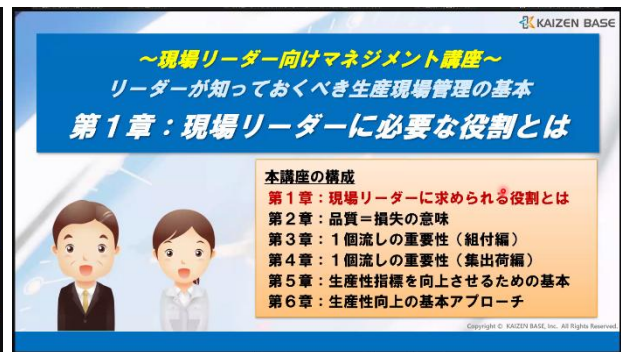
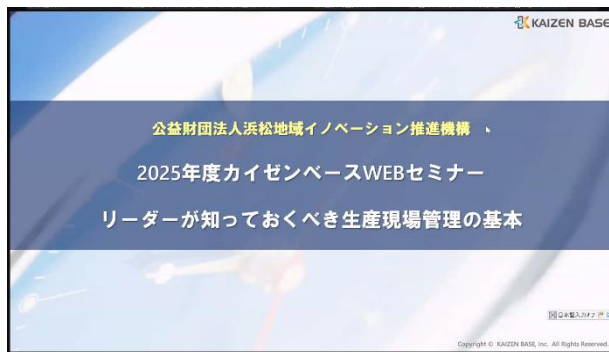
本年度も、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用いただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、6回連続の Web セミナーとして順次実施しています。

今回は、第2回として「リーダーが知っておくべき生産現場管理の基本」を開催しました。

■ 日 時：2025年6月12日（木）13時30分～15時30分

■ 場 所：Web形式

■ 参加者：54社／304名



## 【参加者の声】

- ・問題意識と当事者意識、常に問題に気付けるような仕事のやり方、他者に任せるのではなく自主的に行動できるように心がけたい。人時生産性＝労働時間が決まっているので作業効率を上げて、生産性を増やす仕事を目指したい。セミナーの内容は全体的にわかりやすく、勉強になった。
- ・褒めるときは、その人自身を褒めるのではなく、その人が行った事象に対して褒めるというところは、勉強になった。具体的なNG例も交えての説明でわかりやすかった。
- ・不具合の対策一つとっても、作業者に無理な作業を強いてないか、本当にその対策内容を日々実施できるのかを考慮し対策内容を検討しなければならないと実感した。
- ・日頃より生産管理業務に携わる中で、現場の実態と管理手法のギャップを感じる場面があるので、リーダーとして必要な視点や役割の知識が整理できた。数や納期が不安定な発注が多い現状があり、営業も含めた対応が必要と感じた。
- ・生産性向上に関しては、設備の生産効率は日ごろから意識した活動を展開しているが、人時生産性に関しては、製造職場は特に必須である考え方であることを改めて認識できた。
- ・リーダーに求められる役割がしっかり理解できた。部下のミスを責めるのではなく、原因を特定させ、改善に向かわせるということが大切である。品質＝損失というのが、非常に印象に残った。小さな不良でも初期に対策しておかなければ、大きな損失につながる。
- ・「今自分がやっている仕事はどういう価値を生み出しているのかを考えること。もしそれが無ければ、無駄な仕事なので削減可能」ということが、とても説得力があった。
- ・設計課にいたが、技能職で生産現場に近い作業内容も多いため、参考にしやすいかった。自分たちのチームで取り組んでいる改善活動についてヒントになる内容が多かった。理想的なリーダー像を明確に説明していたので自分の目標に繋がると思った。
- ・トップの方針を実現すべく部下の向くべき方向を具体的に伝え、自らが手本となり教え守らせ常に実行できているか確認すること、積極的に部下とのコミュニケーションをとり事象について褒め叱ること、人時生産性を意識した改善活動を常に考えることなど学んだ。
- ・現場リーダーに求められる役割は、単なる業務の進行管理にとどまらず、チーム全体の士気やパフォーマンスに大きな影響を与えるため、非常に重要だと思った。
- ・リーダーの役割や生産性のことなど、今まではかなり漠然としたことしか理解していなかったが、具体的に説明してくださったことで責任感や理解度が深まったと感じた。
- ・現場管理における重要な指標となる「人時生産性」や、それを向上させるための「NHKの視点」など。積極的に取入れ活用していきたいと思った。
- ・1個流しの効果についてあらためてわかった。省力化も大事だが、省人化に対して食欲にチャレンジして目に見える効果を出すことが大事とわかった。
- ・生産工程における考え方、リーダーがやるべき役割・品質に対する意識（コストを含め）を再認識でき、生産性向上にはボトルネックのカイゼン、モチベーション向上が大事であることが理解できた。
- ・現場リーダーに求められる役割については、やるべき事が再確認できてよかった。人時生産性については、同じ様な指標を使っているのでも、きちんと数値管理が必要と気づくことができた。NHKは改善の基本とは知っていたが順番も大事と気づくことができた。
- ・リーダーの立ち位置や対応、品質の低下による損失、1個流しの管理方法の重要性がわかりやすかった。生産性向上のアプローチも参考になった。
- ・リーダーの役割についてトップとボトムの調整役ということがよくわかった。また、1個流しの有効性を学ぶことができた。NHKの視点で作業を簡素化し、省人化に進めていくことは参考になった。